

第57回 三重県透析研究会学術集会

プログラム



会 期

令和2年 3月15日(日)

会 場

三重県総合文化センター
多目的ホール

〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234

当番幹事

松村 典彦

医療法人康成会 ほりいクリニック 院長

第57回 三重県透析研究会学術集会

プログラム

会 期

令和2年 3月15日(日)

会 場

三重県総合文化センター
多目的ホール

〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234

当番幹事

松村 典彦

医療法人康成会 ほろいクリニック 院長

ご 挨拶

第57回三重県透析研究会学術集会 当番幹事

医療法人康成会 ほりいクリニック

院長 松村 典彦

第57回三重県透析研究会学術集会を本日、当三重県総合文化センターにおいて開催できることを嬉しく思います。開催にあたり、三重県透析研究会々長の小藪先生をはじめ同会事務局の方々、並びに当院スタッフ、さらに関係各位の方々に厚く御礼申し上げます。

本邦において末期腎不全治療として透析療法が一般的な治療法となってから50年余りが経過し、透析療法の目的も当初の生命維持手段から生活の質（QOL）改善へと変わりました。2008年から臨床使用可能となったカルシウム受容体作動薬は、CKD-MBDの骨代謝改善に大きなインパクトを与え、透析患者にとって多大なる恩恵をもたらしています。また、透析液清浄化に伴い、2012年にオンライン HDF 療法が保険収載されて実施可能となり、2015年からは I-HDF 療法も保険承認されるなど様々な透析医療技術の進歩がありました。

現在、三重県内の透析施設は58施設ございますがこの三重県透析研究会学術集会は、医師をはじめ看護師、臨床工学技士、栄養士、薬剤師、理学療法士、作業療法士を含む多職種の方々の意見交換、情報共有の場として貴重な機会であると考えております。是非とも活発な討論をよろしくお願い致します。

今回、特別講演には東邦大学医療センター大橋病院腎臓内科教授の常喜信彦先生をお迎え致しますが心臓・循環器の面から有益なお話を聞くことができるのではないかと期待しております。

さらに、特別企画として災害時透析医療に関するセッションを設けました。伊勢湾台風から60年経過し、昨今の自然災害増加による各地の停電・断水といった状況を踏まえ、全国共通の各都道府県システムである EMIS（広域災害救急医療情報システム）について発表して頂き、また台風被害のため被災地に JHAT（日本災害時透析医療協働支援チーム）として派遣された看護師にその活動を報告して頂きます。

どうか本学術集会が会員の皆様にとって実りある有意義な会となりますようお願いしつつ、開催にあたり一言申し上げます。

令和2年3月15日

ご 案 内

〈参加者へのお知らせとお願い〉

(1) 参加受付場所・時間

場 所：第1会場(多目的ホール)前

時 間：9:30～15:30

(2) 参 加 費

医 師	2,000 円
コメディカル	500 円
学 生	無 料

- 受付にて参加費をお支払いの上、参加証(ネームカード)とプログラム集をお受け取りください。
- 参加証は領収証兼用になっております。参加証には所属・氏名をご記入の上、必ずご着用ください。
- 参加証のない方の入場はお断りいたします。

(3) クロークはございませんので、貴重品は各自で管理ください。

(4) 企業展示ブース

場 所：セミナー室 A(男女共同参画センター 2F)

時 間：10:10～15:30

〈座長の先生へお願い〉

- (1) 参加受付をされましたら、座長受付までお越しください。
- (2) 受付にて評価シートを受け取り、担当セッションでの評価をお願いします。
セッション終了後は評価シートを受付までお持ちください。
- (3) ご担当いただくセッション開始予定5分前までに次座長席周辺にご着席ください。
- (4) 限られた時間内で発表が円滑に進むよう、ご配慮くださいますようお願いいたします。

〈発表者へお願い〉

(1) 発表時間

1 演題 10 分(発表 6 分、討論 4 分)です。

(2) 発表データの試写、PC 受付について

PC データ受付場所：各発表会場前にて行います。

会 場	受付場所	発表時間	セッション名
第1会場	多目的ホール (男女共同参画センター 1F)	AM	一般演題1(看護師)
			一般演題5(看護師・薬剤師)
		PM	一般演題7(看護師・理学療法士・作業療法士)
第2会場	大研修室 (生涯学習センター 4F)	AM	一般演題2(臨床工学技士)
			一般演題6(臨床工学技士)
		PM	一般演題8(臨床工学技士)
第3会場	視聴覚室 (生涯学習センター 2F)	AM	一般演題3(医師)
			一般演題4(医師)

PC データ受付時間：下記の時間厳守でお願いいたします。

午前のセッション	午後のセッション
9:30～10:00	12:00～13:10

- 発表の早いセッションを優先的に受付いたします。ご了承くださいませ。
- また、混雑が予想されますので、時間に余裕をもってお越しください

(3) 発表方法

- 発表はすべて PowerPoint による PC プレゼンテーションのみとなります。
- ファイルは USB メモリでお持ちください。PC 持ち込み、Macintosh は不可といたします。
- 各会場設置 PC の OS、アプリケーションは以下のとおりです。
OS：Windows 10
アプリケーション：Windows 版 PowerPoint 2010/2013/2016
※持込可能なメディアは USB メモリのみとなります。
- 動画を使用される場合は動作不良を起こす可能性がありますので各自動作確認を行ってからお持ちください。
念の為、動画を使用しないスライドもご用意ください。
- 会場には PC オペレーターは配属されません。
演台にキーボード、マウスがございますので、発表者ご自身で演台の PC を操作してプレゼンテーションを行ってください。
- 発表者ツールのご使用はできません。
- お預かりした発表データは、学会終了後、事務局で責任をもって完全消去いたします。

(4) 利益相反に関する情報開示について

スライドの2枚めに利益相反自己申告に関するスライドを加えてください(1枚めはタイトル、施設名等)。詳細は本学術集会ホームページをご覧ください。

【スライド例】
発表時、申告すべきCOI状態がない場合

第57回三重県透析研究会学術集会
COI開示

筆頭発表者名 : ○○ ○○

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などはありません。

【スライド例】
発表時、申告すべきCOI状態がある場合

第57回三重県透析研究会学術集会
COI開示

筆頭発表者名 : ○○ ○○

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などとして、

①顧問:	なし
②株保有・利益:	なし
③特許使用料:	なし
④講演料:	なし
⑤原稿料:	なし
⑥医学研究費:	○○製薬
⑦研究費・奨学寄附金:	○○製薬
⑧寄附講座所属:	あり(○○製薬)
⑨贈答品などの報酬:	なし

〈質問・討議される方へのお願い〉

ご所属、ご氏名を告げてから質問・討論を始めてください。

会場アクセス図

◆アクセス方法

公共交通機関利用

名古屋方面から

近鉄名古屋線：津まで特急利用で60分

大阪(なんば)方面から

近鉄大阪線：津まで特急利用で110分



バス

津駅西口前のロータリー沿いにバス停があります。

・「総合文化センター行き・夢が丘団地行き
(系統番号89)」乗車

・「総合文化センター前・総合文化センター」下車すぐ

徒歩

距離1.8km、所要時間は約24分です。

三重県総合文化センター

車利用

三重県総合文化センターの駐車場は、無料です。

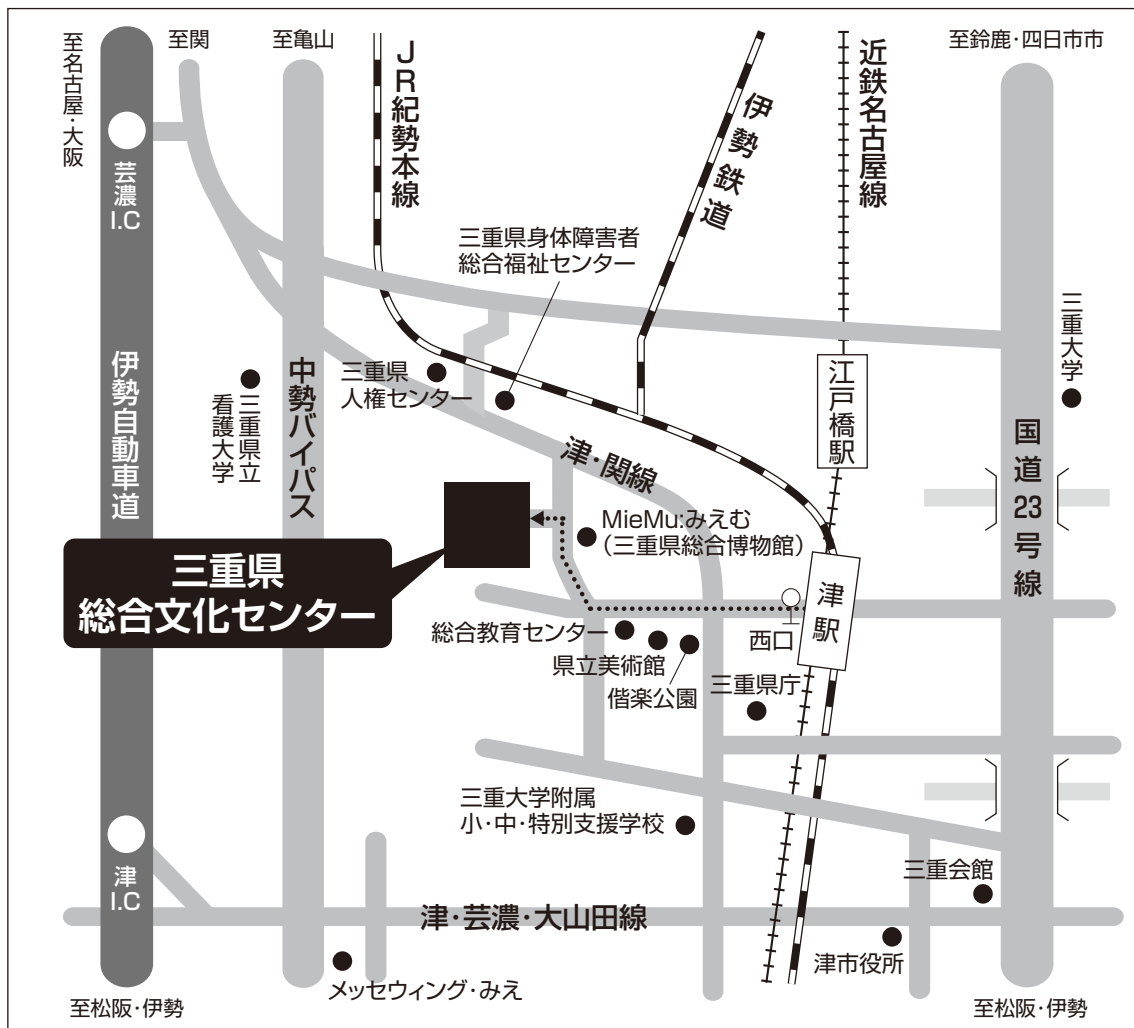
高速道路

伊勢自動車道芸濃インターから約15分、津インターから約10分

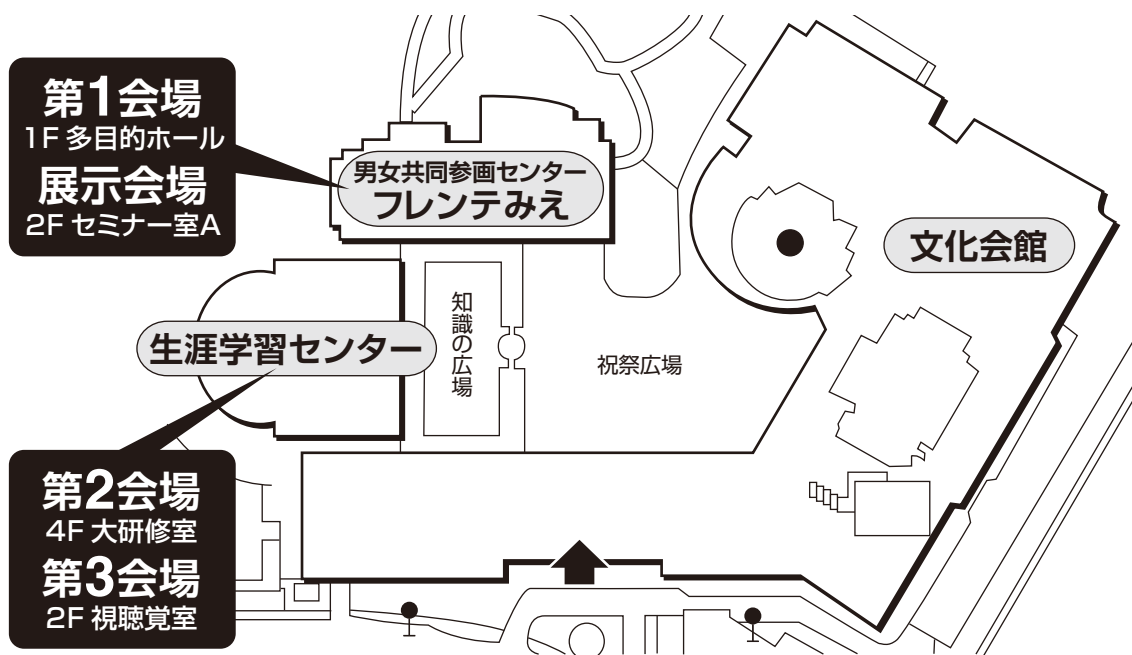
国道23号線

国道23号線「県庁前」交差点から約2.8km、所要時間は約10分

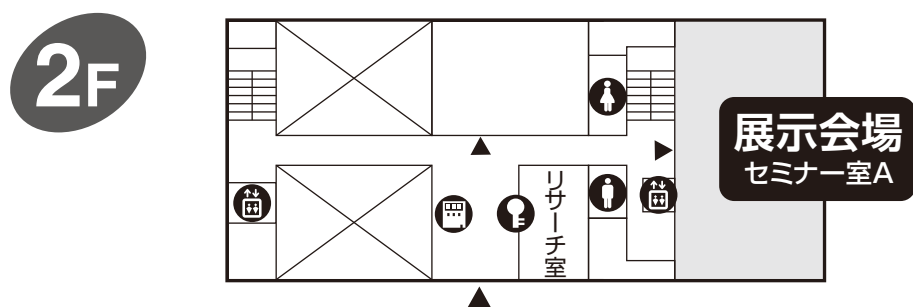
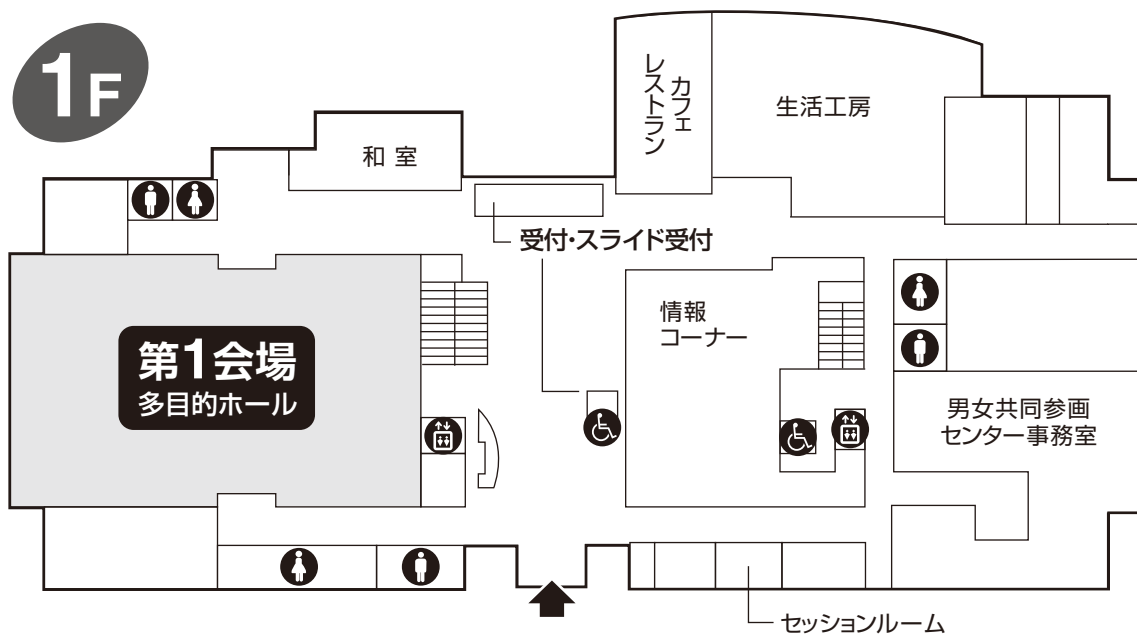
カーナビゲーションには、代表電話番号(0592331111)を入れていただくと便利です。



会場案内図

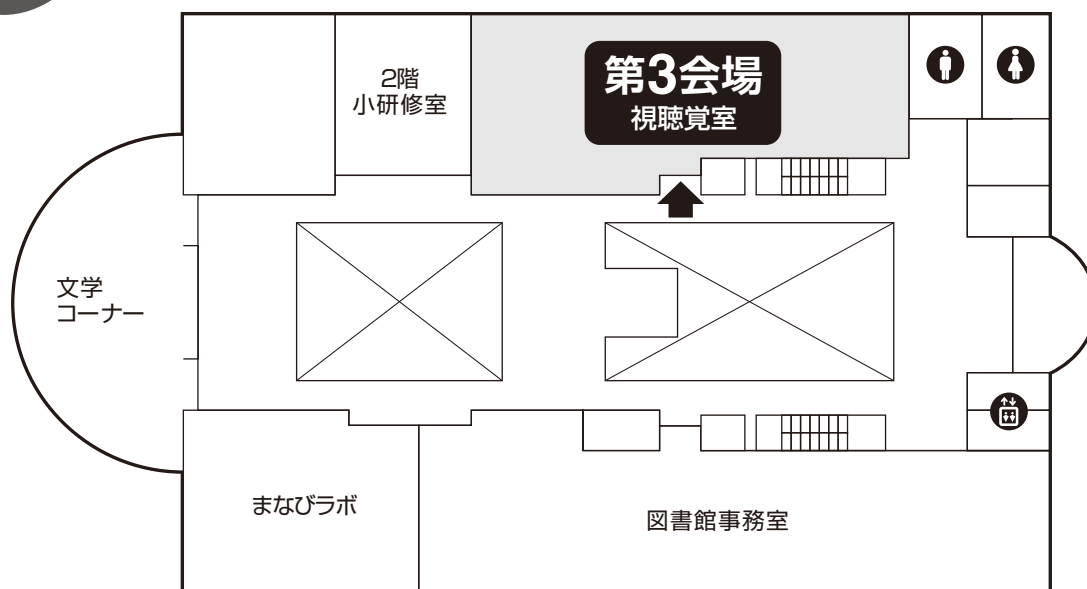


男女共同参画センター「フレンテみえ」

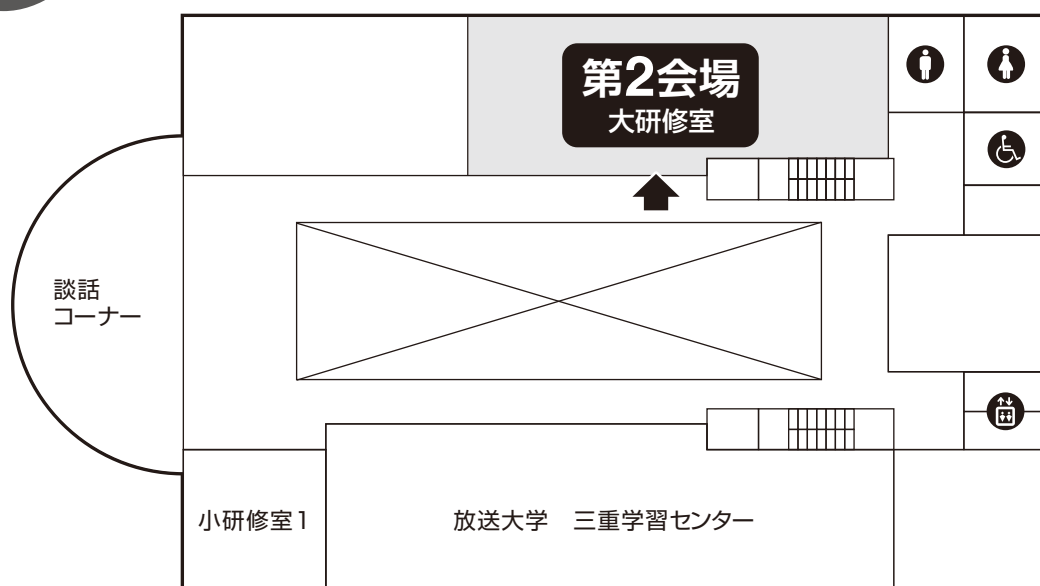


三重県総合文化センター【生涯学習センター】

2F



4F



日 程 表

男女共同参画センター「フレンテみえ」		生涯学習センター		「フレンテみえ」
第1会場		第2会場	第3会場	展示会場
1F 多目的ホール		4F 大研修室	2F 視聴覚室	2F セミナー室A
9:00				
	9:30～ 受付開始			
10:00	10:00～ 開 会 式			
	10:10～11:10 一般演題 1 看護師 6 演題	10:10～11:10 一般演題 2 臨床工学技士 6 演題	10:10～10:50 一般演題 3 医 師 4 演題	10:10 ～ 15:30 企 業 展 示
11:00	11:10～12:10 一般演題 5 看護師・薬剤師 6 演題	11:10～12:10 一般演題 6 臨床工学技士 6 演題	10:50～11:30 一般演題 4 医 師 4 演題	
			11:40～12:10 代表者会議	
12:00				
	12:30～13:20 ランチョンセミナー 1 共催：ノーベルファーマ株式会社	12:30～13:20 ランチョンセミナー 2 共催：旭化成メディカル株式会社、 株式会社ジェイ・エム・エス	12:30～13:20 ランチョンセミナー 3 共催：持田製薬株式会社	
13:00				
	13:30～14:20 一般演題 7 看護師・理学療法士・ 作業療法士 5 演題	13:30～14:30 一般演題 8 臨床工学技士 6 演題		
14:00				
	14:40～15:40 特別講演 実症例から透析患者の心筋症を アセスメントしてみよう！ 常喜 信彦 先生 (東邦大学医療センター大橋病院 腎臓内科 教授)			
15:00				
	15:40～16:10 特別企画 災害時透析医療			
16:00				
	16:20～ 閉 会 式			

プログラム

第1会場(男女共同参画センター「フレンテみえ」1F 多目的ホール)

10:00～10:05 **開会式** 当番幹事 松村 典彦(医療法人康成会 ほりいクリニック)

10:10～11:10 **一般演題1 看護師**

座長：坂田 久美子 先生(津みなみクリニック)

1-1 フットケアに関するスタッフの意識調査 ～統一看護を目指して～

○濱田 有紀(Ns)¹⁾、益子 久美¹⁾、玉村 美恵¹⁾、今西 真佐子¹⁾、坂本 有希¹⁾、
添田 千恵子¹⁾、永橋 明花¹⁾、山中 美佳¹⁾、山下 和久¹⁾、園田 直樹¹⁾、松村 典彦²⁾
1)医療法人康成会 ほりいクリニック、2)同 内科

1-2 三重県透析看護勉強会の活動報告 フットチェックリスト作成の取り組み

○加納 智美(Ns)、山本 久代、右近 華名子、北川 勝久、後藤 浩也、坂田 久美子、
佐藤 恵理、二之湯 勝則、原田 利化、吉見 美穂子
三重県透析看護勉強会

1-3 難治性潰瘍を有した CLI 患者に AN96 膜を使用して著効した症例

○杉山 あづさ(Ns)¹⁾、加納 智美¹⁾、恒松 千晶¹⁾、西田 順二²⁾、齋木 良介²⁾、横井 友和²⁾、
安富 眞史²⁾
1) 地方独立行政法人 桑名市総合医療センター 血液浄化療法部、2) 同 腎臓内科

1-4 心不全をきっかけに頑固な性格の患者とコミュニケーションができるようになった1例

○北村 真理子(Ns)¹⁾、竹内 美由起²⁾、吉見 美穂子¹⁾、小林 薫¹⁾、中田 敦博²⁾、
伊藤 英明子²⁾、伊藤 豊¹⁾、岩島 重二郎²⁾、河出 恭雅²⁾、河出 芳助²⁾
1) 医療法人如水会 四日市腎クリニック、2) 医療法人如水会 鈴鹿腎クリニック

1-5 看護師による患者疑似体験から自らの行動を考える

○南 敬子(Ns)、浅原 典子、内藤 久美代、後藤 浩也、高城 秀代
特定医療法人同心会 遠山病院

1-6 服薬管理ができない患者への関わりを通して

○前川 奈津実(Ns)、柏木 加純、杉本 直美、佐々木 太一、不破 泰子
特定医療法人障純会 武内病院 人工腎センター

5-1 患者の自己止血を試みて

- 長崎 あゆみ(Ns)、小久保 恵奈、湯浅 恵理奈、末崎 博子、出口 智絵、竹内 和子、
藤井 ひとみ、菊山 裕佳子、小川 明日香、東 文香、中瀬 千幸、坂田 久美子、
坂口 幸伸、坂本 悠、伊與田 美矢子、伊與田 義信
津みなみクリニック

5-2 ATP 測定器を用いたシャント肢洗浄の実施率向上に向けた取り組み

- 山下 達矢(Ns)¹⁾、駒田 さゆり¹⁾、齋藤 真紀¹⁾、浦嶋 緩南¹⁾、原田 久子¹⁾、
安田 芳樹²⁾、名和 俊平³⁾、三宅 真人³⁾
1) 独立行政法人 地域医療機能推進機構 四日市羽津医療センター 看護部、
2) 同 臨床工学部、3) 同 腎透析科

5-3 透析スタッフに対する安全意識調査 ～KYT 導入によるリスク感性の変化～

- 西澤 忍(Ns)、上條 貴子、川野 遼平、鬼頭 佳史、中川 マリ子、藤川 兼一、山本 和昇、
出岡 悦子、中田 敦博、伊藤 英明子、岩島 重二郎、河出 恭雅、河出 芳助
医療法人如水会 鈴鹿腎クリニック

5-4 ケアプラン導入の取り組み

- 山川 裕子(Ns)、大橋 真理、飯田 友仁子、渡辺 晴香、赤井 敏江、安藤 友紀、
相原 瑞絵、中村 永子、伊藤 真奈美、竹重 信
医療法人徳心会 四日市セントラルクリニック

5-5 高齢透析患者を支える介護施設との連携への取り組み

- 原田 利化(Ns)¹⁾、川波 かおり¹⁾、出岡 悦子¹⁾、山本 和昇¹⁾、中田 敦博¹⁾、
伊藤 英明子¹⁾、伊藤 豊²⁾、岩島 重二郎¹⁾、河出 恭雅¹⁾、河出 芳助¹⁾
1) 医療法人如水会 鈴鹿腎クリニック、2) 医療法人如水会 四日市腎クリニック

5-6 透析導入を宣告された透析看護認定看護師の戸惑い ～ケアをする側から受ける側へ。患者となった心理～

- 森井 浩美(Ns)
あきやま腎泌尿器科

血液透析患者に対する亜鉛補充の意義

片山 鑑 先生 三重大学医学部附属病院 腎臓内科・血液浄化療法部 講師

7-1 当院透析患者におけるモビコール配合内用剤[®]の効果、便秘に関する QOL の変化について

○安藤 尚幹(Ph)¹⁾、服部 信¹⁾、西井 亜紀¹⁾、岡 孝子¹⁾、麻原 理沙¹⁾、藤本 美香²⁾、清原 実千代²⁾、町田 博文²⁾、武内 操²⁾、武内 秀之²⁾

1) 特定医療法人障純会 武内病院 薬剤部、2) 同 内科

7-2 透析患者の疲労が心理面と身体活動量に与える影響

○伊藤 裕亮(Ns)¹⁾、佐藤 快丈¹⁾、戸塚 絵美¹⁾、岡田 麻希¹⁾、瀬田 直紀¹⁾、水谷 益美¹⁾、野口 佑太²⁾、川村 直人³⁾

1) 医療法人社団主体会 主体会病院 透析センター、

2) 鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部リハビリテーション学科、3) 医療法人社団主体会 主体会病院 内科

7-3 透析中のセルバンドによる筋力運動の効果と心理的变化

○坂井 秀幸(Ns)、杉下 真由美、上野 憂、藤村 智子、松場 幸江、大河 和美、大杉 和生、小薮 助成

尾鷲総合病院 透析センター

7-4 透析患者に対するグラウンドゴルフ参加に関する取り組み

○渡辺 元夫(PT)、伊藤 美香、松岡 恵理、中澤 亜希子、玉田 香介

医療法人医秀会 玉田クリニック

7-5 血液透析中に運動療法を実施した患者のリハビリテーションアウトカムの12ヶ月の推移—後方視的観察研究—

○今岡 泰憲(OT)¹⁾²⁾、岡田 直隆¹⁾、廣瀬 桃子¹⁾、山本 大貴¹⁾、山口 みさき¹⁾、松本 翔太¹⁾、米村 重則²⁾

1) 松阪市民病院 リハビリテーション室、2) 同 泌尿器科

14:40～15:40 **特別講演**

座長：松村 典彦 先生（医療法人康成会 ほりいクリニック院長）

実症例から透析患者の心筋症をアセスメントしてみよう！

常喜 信彦 先生 東邦大学医療センター大橋病院 腎臓内科 教授

15:40～16:10 **特別企画**

座長：小薮 助成 先生（尾鷲総合病院 院長）

〔災害時透析医療〕

広域災害救急医療情報システム（EMIS）について

田中 保浩 氏 三重県医療保健部 健康づくり課 疾病対策班

日本災害時透析医療協働支援チーム（JHAT）の活動報告

福永 絵美 先生 医療法人偕行会 くわな共立クリニック 看護師

16:20～ **閉会式**

2-1 日機装社製順濾過間歇補液型 HDF (I-HDF) の使用経験

○前川 了一(CE)¹⁾、西 秀明¹⁾、瀬田 直紀¹⁾、川村 直人²⁾

1) 医療法人社団主体会 主体会病院、2) 同 内科

2-2 高 Hct 値の患者に対して Qs コントロールにて安定した透析が行えた一例

○岩田 悠一(CE)、田中 まい、西口 隆史、沼田 静、中根 義仁、松岡 恵理、伊藤 美香、
古賀 希、高橋 志保子、中澤 亜希子、玉田 香介

医療法人医秀会 玉田クリニック

2-3 透析時低血圧、皮膚掻痒感、関節痛に対する HDF 療法の効果

○下地 規夫(CE)、大谷 ひろ子、中村 いつ子、畦地 美紀、土谷 比奈子、野尻 友紀子、
池田 香理、宮村 くるみ、中西 朋代、岡 隆子、薮 恵美、澤井 滯羽、奥田 紗世、
前地 三枝、越村 邦夫

特定医療法人淳風会 熊野路クリニック

2-4 透析困難症に対する透析条件の一考

○川野 遼平(CE)、山本 和昇、田辺 さくら、窪田 英里子、竹田 健吾、小倉 脩平、
長谷部 祐二、柳田 圭祐、加藤 裕介、鬼頭 佳史、山下 智史、藤川 兼一、三浦 隆史、
中田 敦博、岩島 重二郎、河出 恭雅、河出 芳助

医療法人如水会 鈴鹿腎クリニック

2-5 コンソールの入替を経験して

○坂口 幸伸(CE)、坂本 悠、村田 知佳、湯浅 恵理奈、小久保 恵奈、長崎 あゆみ、
出口 智絵、竹内 和子、藤井 ひとみ、菊山 裕佳子、小川 明日香、東 文香、
中瀬 千幸、坂田 久美子、伊與田 美矢子、伊與田 義信

津みなみクリニック

2-6 新卒臨床工学技士による医療機器保守管理方法の更新

○笠井 優樹(CE)、納所 真里、田中 章規、西山 誠、柴田 守、原澤 桃子、原澤 博文

医療法人さくら会 さくらクリニック松阪

座長：松田 直樹 先生（社会医療法人畿内会 岡波総合病院 CE 部
臨床工学技士 副主任（人工透析室管理者））

6-1 VAVT 施行患者における短期再狭窄の要因検討

○山中 伸吾(CE)、日比 雅人、佐藤 真義、柴田 洋、小嶋 岳人、小切間 猛史、山谷 美紗、
松本 一統、長岡 里佳、板垣 正幸、三宅 智紀、波田 光司、笹井 直樹
特定医療法人同心会 遠山病院

6-2 VA エコーチームを発足させて 一更なるバスキュラーアクセスを目指して

○長谷部 佑二(CE)¹⁾、窪田 英里子¹⁾、竹田 健吾¹⁾、川野 遼平¹⁾、小倉 脩平¹⁾、
柳田 圭祐¹⁾、加藤 裕介¹⁾、鬼頭 佳史¹⁾、山下 智史¹⁾、三浦 隆史¹⁾、藤川 兼一¹⁾、
出岡 悦子¹⁾、山本 和昇¹⁾、中田 敦博¹⁾、伊藤 英明子¹⁾、伊藤 豊²⁾、岩島 重二郎¹⁾、
河出 恭雅¹⁾、河出 芳助¹⁾
1) 医療法人如水会 鈴鹿腎クリニック、2) 医療法人如水会 四日市腎クリニック

6-3 狭窄を頻回に繰り返す自己血管内シャント症例に対するシャントマッサージの試み

○藤田 佳樹(CE)¹⁾、近藤 壮士¹⁾、神田 翔¹⁾、小林 薫¹⁾、山本 和昇²⁾、中田 敦博²⁾、
伊藤 英明子²⁾、伊藤 豊¹⁾、岩島 重二郎²⁾、河出 恭雅²⁾、河出 芳助²⁾
1) 医療法人如水会 四日市腎クリニック、2) 医療法人如水会 鈴鹿腎クリニック

6-4 加圧式 VA マッサージ(PVM)の有用性の検討

○川添 文音(CE)¹⁾、後藤 友希¹⁾、辻本 有花¹⁾、大原 さなえ¹⁾、西村 直樹¹⁾、安田 芳樹¹⁾、
安江 一修¹⁾、原田 久子²⁾、名和 俊平³⁾、三宅 真人³⁾
1) 独立行政法人 地域医療機能推進機構 四日市羽津医療センター 臨床工学部、
2) 同 看護部、3) 同 腎透析科

6-5 ドクターメドマー使用による透析中の血圧低下予防効果についての検証

○田中 まい(CE)、中根 義仁、岩田 悠一、沼田 静、西口 隆史、松岡 恵理、伊藤 美香、
古賀 希、高橋 志保子、中澤 亜希子、玉田 香介
医療法人医秀会 玉田クリニック 透析センター

6-6 カルテ連携を利用した、ESA 製剤投与方法の比較検討について

○宮坂 佳裕(CE)、加藤 佳史、山口 翔、奥田 将、吉川 和幸
医療法人 永井病院

標準治療としての HDF 療法の臨床的有用性 —HD から On-line HDF, I-HDF に移行して—

尾間 勇志 先生 特定医療法人暁純会 武内病院 人工腎センター 部長

13:30～14:30 一般演題8 臨床工学技士

座長：九鬼 弘和 先生（社会福祉法人恩賜財団 済生会松阪総合病院
医療技術部 臨床工学課）

8-1 人工血管—正中皮静脈に fistula を形成した一例

○山田 大樹(CE)¹⁾、樋口 雄成¹⁾、大谷 元¹⁾、白前 晃¹⁾、西田 佳史¹⁾、片山 鑑²⁾、
江見 吉晴³⁾

1)市立伊勢総合病院 臨床工学室、2)同 内科、3)同 循環器内科

8-2 車椅子を利用している透析患者の下肢皮膚灌流圧（SPP）値はやはり低いのか？

○村上 正憲(CE)¹⁾、平石 卓也¹⁾、石本 丞¹⁾、園田 光一朗¹⁾、島ノ上 遥¹⁾、岩崎 裕次¹⁾、
山下 和久¹⁾、園田 直樹¹⁾、玉村 美恵¹⁾、益子 久美¹⁾、松村 典彦²⁾

1)医療法人康成会 ほろいクリニック 透析室、2)同 内科

8-3 当院における亜鉛欠乏症に対する治療経験からのノベルジン投与量

○山崎 崇紘(CE)、永田 裕也、古市 綾乃、中窪 勇一郎、山口 尚紀、豊岡 美咲、
清水 祐子、山邊 裕子、竹澤 有美子

医療法人友和会 竹沢内科歯科医院

8-4 在宅血液透析導入を経験して

○清水 可奈(CE)¹⁾、佐久間 あかね¹⁾、塚原 蓮々¹⁾、堀本 夏未¹⁾、黒宮 俊¹⁾、中嶋 佳仙¹⁾、
岡村 有起¹⁾、片岡 祐也¹⁾、伊藤 史朋¹⁾、堤 翔子¹⁾、佐藤 勝紀¹⁾、柴田 翔子¹⁾、
森 亨子¹⁾、佐々木 太一¹⁾、澁谷 和俊¹⁾、尾間 勇志¹⁾、町田 博文²⁾

1)特定医療法人暁純会 武内病院 臨床工学部、2)同 内科

8-5 無床外来維持透析クリニックにおける透析導入の経験と現状

○神田 翔(CE)¹⁾、藤田 佳樹¹⁾、近藤 壮史¹⁾、吉見 美穂子¹⁾、小林 薫¹⁾、中田 敦博²⁾、
伊藤 英明子²⁾、伊藤 豊¹⁾、岩島 重二郎²⁾、河出 恭雅²⁾、河出 芳助²⁾

1)医療法人如水会 四日市腎クリニック、2)医療法人如水会 鈴鹿腎クリニック

8-6 スタッフ間 LINE@ における災害時情報共有訓練

○山野 実穂(CE)、植木 直子、梅田 絵理奈、綿引 直美、遠藤 真由美、松尾 浩司

鈴鹿回生病院 腎臓センター

3-1 透析管理に苦慮した非閉塞性腸管虚血(NOMI)の2例

○村上 敬祐(Dr)、中野 彰人、笠井 里奈、服部 晶子、小林 和磨、増田 智広
市立四日市病院

**3-2 家庭で作成可能な低カリウムオレンジジュースの開発
— 味覚センサーを用いて改良 —**

○原 和弘(Dr)¹⁾²⁾、名和 俊平²⁾、三宅 真人²⁾
1)医療法人道しるべ 四日市道しるべ、2)地域医療機能推進機構 四日市羽津医療センター 腎・透析科

3-3 3D-CT を用いたシャント管理について

○福井 淳(Dr)¹⁾、伊與田 義信²⁾、山邊 智明¹⁾、野呂 菜津子¹⁾、堀川 恵子¹⁾
1)医療法人 ハートクリニック福井、2)津みなみクリニック

3-4 血液透析患者の Mg 動態について

○福井 淳(Dr)¹⁾、小倉 渉¹⁾、宮下 暁朗¹⁾、中西 大一¹⁾、上村 元美¹⁾、余谷 公義¹⁾、
清原 美千代²⁾
1)医療法人 ハートクリニック福井、2)医療法人 武内病院

4-1 カフェイン中毒に対し血液透析療法を施行した一例

○波部 尚美(Dr)、日浅 厚則、西村 広行、上野 勢津子、竹内 敏明
特定医療法人同心会 遠山病院 内科

4-2 重症筋無力症クリーゼに対して血漿交換および血漿吸着療法を施行した1例

○西田 順二(Dr)、斎木 良介、横井 友和、安富 真史
桑名市総合医療センター

4-3 自己離脱を繰り返す患者を考える

○竹重 信(Dr)、橋本 真理、赤井 敏江、中村 永子、塩野 雄太
医療法人徳心会 四日市セントラルクリニック

4-4 とにかく明るい療法選択 ～腎臓センター、奮闘中！～

○遠藤 真由美(Dr)、松尾 浩司、の村 信介
鈴鹿回生病院 腎臓センター

11:40～12:10 代表者会議

12:30～13:20 ランチョンセミナー3

共催：持田製薬株式会社

座長：小薮 助成 先生（尾鷲総合病院 院長）

慢性腎臓病と便秘

伊藤 康文 先生 社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院 第二消化器内科部長

特 別 講 演

第1会場（男女共同参画センター「フレンテみえ」1F 多目的ホール）

14：40～15：40

座長：医療法人康成会 ほりいクリニック院長 松村 典彦 先生

実症例から透析患者の心筋症を アセスメントしてみよう！

東邦大学医療センター大橋病院 腎臓内科 教授

常喜 信彦 先生

一般演題
抄 録

1-1 フットケアに関するスタッフの意識調査 ～統一看護を目指して～

○濱田 有紀(Ns)¹⁾、益子 久美¹⁾、玉村 美恵¹⁾、
今西 真佐子¹⁾、坂本 有希¹⁾、添田 千恵子¹⁾、
永橋 明花¹⁾、山中 美佳¹⁾、山下 和久¹⁾、
園田 直樹¹⁾、松村 典彦²⁾

1)医療法人康成会 ほりいクリニック

2)同 内科

透析患者は、末梢動脈疾患（以下、PAD）の合併が多く、合併していない患者に比べ、5年生存率が20%しかなく生命予後不良と報告されている。その理由として、PAD 重症型である重症下肢虚血（以下、CLI）が多い点が挙げられる。本邦の CLI 患者のおよそ半分は透析患者であることから、PAD 重症化予防の重要性が認識され、2016年4月から下肢末梢動脈疾患指導管理加算が維持透析患者全例に算定可能となった。

当院では、目標に「フットケアを行い、足病変の予防と早期発見に努める」と掲げ、患者125名に対し、抗血小板薬内服中の患者は毎月、非服用者は2カ月に1回、フットケア（フットチェック）を行っている。しかし、看護師のフットケアの経験に差があり、各スタッフの知識や技術にも差があった。PAD や CLI の予防、早期発見にはスタッフの正しい知識が必要である。フットケア指導士の役割として、スタッフの統一した看護を目指し、一人でも多くの患者の足を救っていきたいと考えた。

当院看護師8名に対してアンケート調査を行い、各スタッフが抱える疑問点・問題点が明らかとなった。そのアンケート結果を基にスタッフに対して適宜、勉強会を開催し、知識統一・技術向上に努めた。半年後に再度アンケート調査を行い、スタッフのフットケアに対する意識調査の結果および今後継続して行っていく上でみえてきた課題について報告する。

1-2 三重県透析看護勉強会の活動報告 フットチェックリスト作成の取り組み

○加納 智美(Ns)、山本 久代、右近 華名子、
北川 勝久、後藤 浩也、坂田 久美子、
佐藤 恵理、二之湯 勝則、原田 利化、
吉見 美穂子

三重県透析看護勉強会

2008年に下肢末梢動脈管理加算が診療報酬で新設され、全国の透析施設で取り組みが始まった。2018年1月末現在の三重県における届け出施設は88.9%であり、患者の足を守るための取り組みが行われている。

しかしながら、その施設基準には臨床とはそぐわない部分もあり、有効なりスク分類や予防的なフットケアがなされず、業務の負担になっている施設も多い。

三重県透析看護勉強会は世話人として10施設の看護師の代表が参加し、年1回の講演会と市民公開講座の手伝いなど腎不全看護に関する活動している。そこで、今回この研究会の繋がりを活用し、下肢に対する取り組みの質の向上に取り組むことにした。まず始めたのが、フットチェックシートの再考である。各施設のフットチェックシートを持ち寄り、重要なことと不要なものなど検討し、簡易なチェックシートを作った。

その取り組みの現状と、今後の活動について報告する。

1-3 難治性潰瘍を有した CLI 患者に AN69 膜を使用して著効した症例

○杉山 あづさ (Ns)¹⁾、加納 智美¹⁾、
恒松 千晶¹⁾、西田 順二²⁾、齋木 良介²⁾、
横井 友和²⁾、安富 眞史²⁾

1) 地方独立行政法人 桑名市総合医療センター
血液浄化療法部

2) 同 腎臓内科

【症例】73歳 女性。

【現病歴】糖尿病性腎症にて1994年透析導入。2015年より I-HDF 開始。透析開始時からの血圧も低めで、開始時より下肢を挙上することを希望されていた。同時期に両踵に原因不明の潰瘍形成し悪化と軽快を繰り返し、なかなか完治しなかった。年中、下肢の冷感を認めていた。普段、歩行時はシルバーカーを使用しており、間欠性跛行は不明であった。両下肢血管の狭窄、石灰化が著明であり、EVT を実施したが、やはりすぐに再狭窄し、潰瘍の治癒には至らなかった。そこで2018年12月より AN69 膜を使用した透析に変更し、血流改善による創傷治癒促進を試みた。

【使用後の経過】AN69膜開始後も、透析日の人工炭酸泉足浴やフットケア、保湿は継続して行った。

使用開始直後より下肢の冷感は消失し、2週目には血圧は安定したため、下肢挙上をせずに透析が実施できるようになった。2019年10月、両踵の傷が完治することができた。

【考察】AN69膜使用によるブラジキニン効果で血流が改善し、創傷が治癒できたと思われる症例であった。予測される透析効率の低下や創傷の治癒経過に若干の考察を加えて報告する。

1-4 心不全をきっかけに頑固な性格の患者とコミュニケーションができるようになった1例

○北村 真理子 (Ns)¹⁾、竹内 美由起²⁾、
吉見 美穂子¹⁾、小林 薫¹⁾、中田 敦博²⁾、
伊藤 英明子²⁾、伊藤 豊¹⁾、岩島 重二郎²⁾、
河出 恭雅²⁾、河出 芳助²⁾

1) 医療法人如水会 四日市腎クリニック

2) 医療法人如水会 鈴鹿腎クリニック

【はじめに】頑固な性格の患者が心不全を起こし、その後看護介入をした結果、コミュニケーションがスムーズにできるようになったため報告する。

【対象】70歳代 男性。糖尿病性腎症、透析歴5年、妻と二人暮らし。

管理職で海外赴任の経験が多くあり。

我慢・指図をされるのが嫌という頑固な性格。

亭主関白であり身の回りのことは全て妻が管理。

【経過】転入時より体重増加が多く、心不全のリスクを話してきた。前医より医療不信があると言われていたが、透析後の倦怠感が続いたことで医療不信が強くなり、透析条件等の変更に対して拒否的、時には「あっちいけ」「お前には話さん」などの暴言や、威圧的な態度もみられるようになり関わりにくい状況となった。

転入4年目頃より溢水傾向にてドライウウェイトを下げなければいけない状態が続いたが、拒否され続け、心不全を起こしてしまった。それをきっかけに、担当看護師を決め介入することとなった。Iメッセージとしてスタッフの気持ちを素直に伝えた結果、スタッフへの不満を話すようになるなど、会話の内容に変化が表れるようになり、妻の協力も得られるようになった。

【考察】頑固な患者に対し、スタッフの思いをIメッセージとして伝えた事で、患者自身の思いも素直に話せるようになり、コミュニケーションがスムーズにできるようになった。

【結語】本人、妻の協力が得られるようになったため、今後は信頼関係を築けるよう関わっていきたい。

第57回三重県透析研究会学術集会 プログラム

当番幹事：松村 典彦 医療法人康成会 ほりいクリニック 院長

事務局：三重県透析研究会
三重大学医学部附属病院 血液浄化療法部内
〒514-8507 三重県津市江戸橋2-174
TEL：059-231-5403 FAX：059-231-5569
E-mail：renal@clin.medic.mie-u.ac.jp

出版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025
<https://secand.jp/>

